

序章

(1) 策定の背景と目的

これまでの交通政策は、人口の増加に伴う交通容量の不足などを背景に、鉄道、モノレール、道路の整備など、各分野における施設の量的な拡大を中心とした取組みが行われてきました。

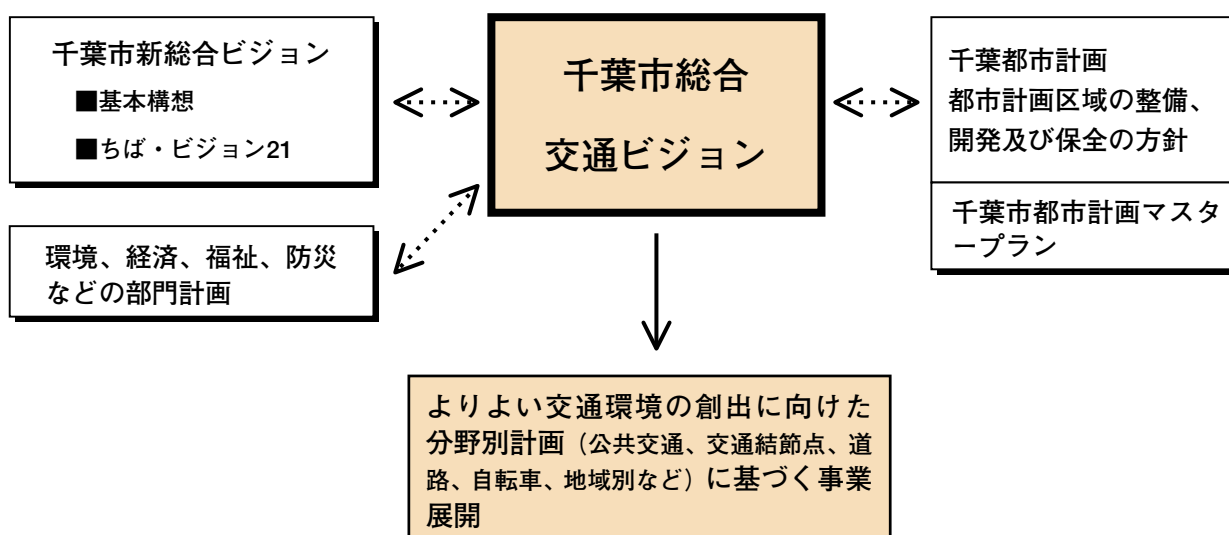
しかしながら、今後は人口減少社会や少子・超高齢社会の到来、地球温暖化の進行などの社会情勢の変化に的確に対応するとともに、まちの魅力と活力の維持・向上を含む総合的な視点からの取組みが必要となります。

このことから、『千葉市総合交通ビジョン』（以下、「交通ビジョン」という。）では、本市や本市を取り巻く諸状況の現状や課題などを踏まえ、本市の今後の交通政策における取組みの方向性を明らかにし、総合的かつ効率的・効果的な交通政策の推進を目指します。

(2) 位置づけと構成概要

1) 位置づけ

交通ビジョンは、『千葉市新総合ビジョン』や『千葉都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』・『千葉市都市計画マスタープラン』（参考資料p61～63参照）で示されている本市のまちづくりの方向性や環境・経済など関連する部門計画を踏まえた上で、今後の「交通政策の基本指針」とします。



2) 構成概要

交通ビジョンは、次の六つの章で構成し、交通政策の総合的な取組みの方向性を示します。

■第1章 千葉市の概況

交通政策を検討するうえで前提となる社会経済情勢の現況など、本市の概況について整理します。

■第2章 交通の現状と課題

本市における交通の現状と課題について、主に「交通手段」「市民意識」「公共交通への財政支出」の三つの観点から整理します。

■第3章 交通政策の基本方針

第1章・第2章から導かれる交通政策に関する「基本認識」と、施策体系の幹となる「取組みの基本方向」を示します。また、取組みにあたっての重要な視点や交通ネットワークの形成について示します。

■第4章 公共交通を活かした交通ネットワークの形成

本市が形成すべき交通ネットワークについて、公共交通を中心に示します。

広域的な方向別交通ネットワークの課題を概観した後、都市内交通ネットワークの基本概念を示します。特に、鉄道・モノレール・幹線的バスで構成する「骨格的ネットワーク」については、本市の現状や今後の検討の方向性などをより具体的に示します。また、本市の道路の基本的なネットワークについても示します。

■第5章 施策の方向と主な取組み

第3章で示した「取組みの基本方向」に沿って、施策の方向や主な個別施策による施策体系を総合的に示すとともに、施策の概要について説明します。

■第6章 取組みの推進にあたって

各主体の役割と連携のあり方や、今後の具体的な取組みの進め方を示します。